

# ケアすることは美しい？ ～共依存について学ぶ～

本年度の定期総会・基調講演は、日本公認心理師会会長の信田さよ子先生に「共依存」についてご講演をお願いしました。信田先生は依存症や家族問題、DV・虐待・性暴力被害や加害者プログラムなどの臨床に長らく取り組んでこられました。また講演や著述も精力的にされています。

## 【講師】

原宿カウンセリングセンター顧問・日本公認心理師協会会長

信田 さよ子 先生



## 【講師コメント】

援助やケアの意味や価値を疑うひとはいないだろう。しかし1980年代からアルコール依存症（アディクション）の援助では、ケアが時には有害になることが指摘され、イネーブリングや共依存という言葉を生み出した。ケアは美しいものではなく、時に危険を孕むこともある。そのことを具体的にお話ししたいと思っている。

2026年 **7月20日**（月・祝日）13:00～15:00

## 【対象】

- ・民間相談機関連絡協議会 会員
- ・区市町村社会福祉協議会、ボランティア・市民活動センターのスタッフ
- ・公的相談機関スタッフ（福祉事務所・保健所・保健福祉センター等）
- ・民間相談機関・団体のスタッフ
- ・その他、参加をご希望の方

## 【会場・参加方法】

飯田橋セントラルプラザ10階会議室またはオンライン参加（ZOOM）  
※講師はオンラインにて講演予定

## 【参加費】

会員 無料／一般 1,000円  
（オンライン参加の場合は要事前振込）

## 【お申込み】

民間相談機関連絡協議会HP  
よりお申込みください。



民間相談機関  
連絡協議会HP

## 【主催】

民間相談機関連絡協議会

\* 申込み締切 7月10日（金）

## ■ 講師プロフィール

原宿カウンセリングセンター顧問、日本公認心理師協会会長。公認心理師、臨床心理士。お茶の水女子大学大学院修士課程修了。95年に原宿カウンセリングセンターを設立。様々な依存症、摂食障害、DV、虐待などに悩む本人やその家族へのカウンセリングを行っている。2022年、日本心理臨床学会学会賞受賞。

著書は『家族と厄災』（生きのびるブックス）『家族と国家は共謀する』（角川新書）『アダルト・チルドレン：自己責任の罫を抜けだし、私の人生を取り戻す』（学芸みらい社）『ひとはなぜ自分を責めてしまうのか』（ちくま新書）など。最新著は『溺れながら生きる』（文藝春秋、26年7月刊行）。

## ■ 民間相談機関連絡協議会について

都内で相談活動を行なっている民間相談機関・団体によって1997（平成9）年に設立されました。

地域において相談活動を行う民間の機関・団体は多数存在し、その行う領域は多岐に渡っています。しかし、近年の社会経済状況の変動にともない、寄せられる相談内容も多様化・複雑化しつつあります。各々の相談機関だけでは解決できないケースも増えてきており、ほかの機関・団体との連携した取り組みが必要となっています。そこで、都内に所在し、相談活動を行っている民間相談機関・団体を中心に、協力・連携し、学び合い、支え合える場づくりを目的にネットワークとして活動しています。

## ■ お問い合わせ

民間相談機関連絡協議会

メール [info@minsouren.org](mailto:info@minsouren.org)

H P <https://www.minsouren.org/>

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センターメールボックス 60番

FAX 03-3235-0050

## ■ オンライン参加 お申込み後の流れ

参加申し込みをいただいた後、参加費の振込先をメールにてお伝えします。お振込みを確認後、ZOOM ミーティングID とパスワード、講演会資料をメールにてお送りします。

## ■ 会場アクセス

飯田橋セントラルプラザ10階会議室

（〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1）

- ・JR 総武線「飯田橋駅」西口より徒歩3分
- ・地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線「飯田橋駅」B2b 出口直結

